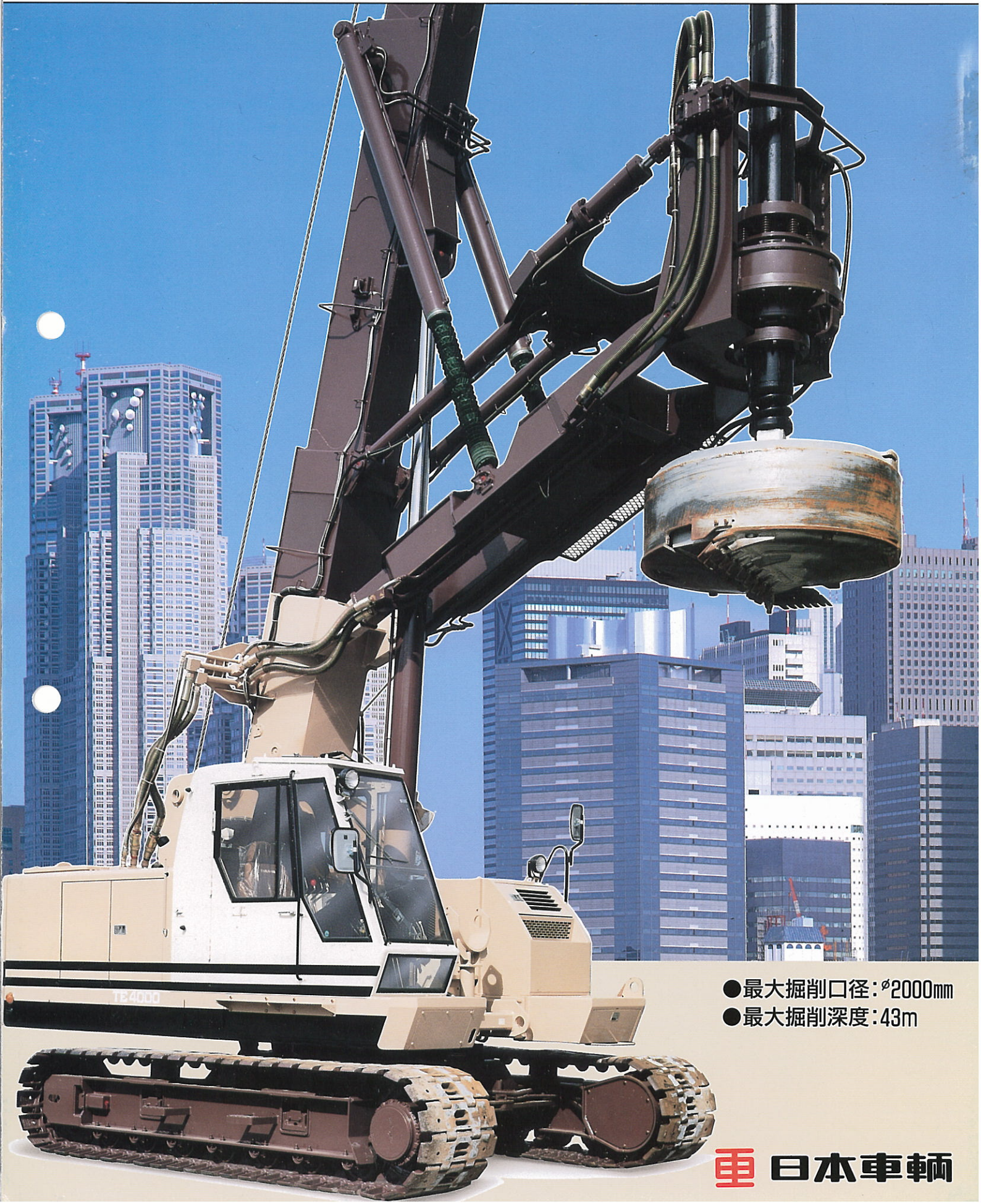


# TELE EARTH

TE4000型アースドリル テレアース



- 最大掘削口径:  $\phi 2000\text{mm}$
- 最大掘削深度: 43m

 日本車輛

# テレアース

## TE4000型アースドリル

### 2段伸縮ブーム

2段伸縮箱型ブーム採用で伸長時のガタを少なくし、掘削穴の精度向上と掘削作業の能率向上を図りました。また、組立、組ばらしが容易におこなえますので、狭い現場への搬入や作業が可能となりました。

### 掘削トルク6.0ton f-m

バケット最大回転トルクは、正転、逆転ともにこのクラス最大の6.0ton f-mであり、φ2000mm軸振りバケット(軟弱土質)まで対応できます。



### ハイパワーで省エネ

160ps直噴ターボエンジンの搭載により、高能率の作業ができます。また、高圧可変ポンプに全馬力制御を行っていますので、エンジンパワーを無駄なくバケット掘削力に使えます。さらに、クレーン検査機には操作レバーが中立時に油圧ポンプ吐出量が最小になる省エネ回路を採用しています。

### ●掘削深さ43m

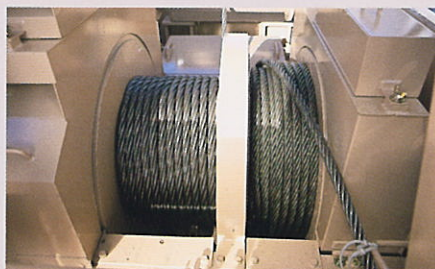
| ブーム長  | ケリーバ形式 | ケリーバ長さ(最短) | バケット掘削深さ(ケリーバのみ) |             | ステム10m使用時掘削深さ |             |
|-------|--------|------------|------------------|-------------|---------------|-------------|
|       |        |            | ケリードライブ上方位置      | ケリードライブ下方位置 | ケリードライブ上方位置   | ケリードライブ下方位置 |
| 17.5m | 4段丸形   | 12.7m      | 40m              | 43m         | 50m           | 53m         |



# 2段伸縮ブーム採用で一段

## ■頼りになるウインチ

ケリーバ、補巻巻上用ドラムはφ22.4mmのロープに対応できるパワフルなウインチを装備しています。また、主巻、補巻クラッチレバーには、ネガブレーキスイッチが装備されており、ケリーバを吊ったままでの補巻作業において、安全性が向上します。



## ■スムーズな旋回

旋回は当社独自のリアクション機構付きですので、微妙な旋回スピード、正確な位置決めが簡単に行なえます。また、旋回とブレーキとピンロックの操作が1本の操作レバーで行えます。

## ●微速コントロール標準装備

杭芯の位置決め作業およびインチング操作に有効な微速コントロールを標準装備し、通常の作業速度の100%~13%の範囲で任意に調整可能です。

## ■簡単な保守点検

駆動輪、従動輪、上下ローラにはフローティングシールを採用していますので日常点検に手間が掛かりません。また、OKモニターも標準装備しています。

## ■優れた補助吊り能力

このクラス最大の補助吊り能力で、現場内のスタンドパイプ、鉄筋やトレミー管他の吊り込み作業に威力を発揮します。

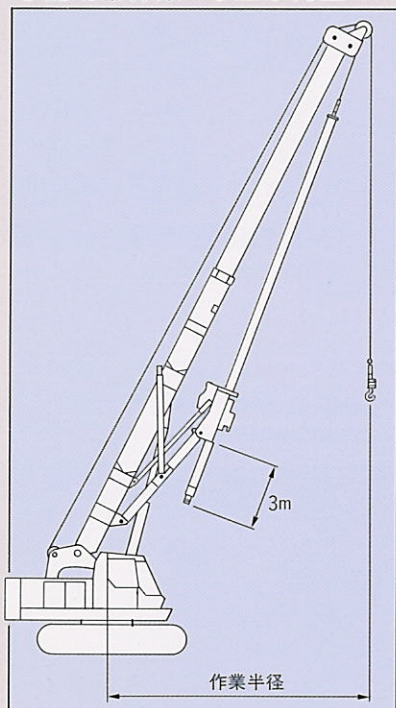
|       | 最大補助吊り能力 (ton) × 作業半径 (m) |        |
|-------|---------------------------|--------|
| ケリーバ付 | 6.0                       | × 7.7  |
|       | 1.0                       | × 15.0 |
| ケリーバ無 | 6.0                       | × 8.5  |
|       | 1.8                       | × 16.0 |

## レバー機器配置

オペレータ中心に配置した見やすく使いやすい運転席。



## ●補助吊作業つり上げ荷重 (ケリーバ付時)



- 1 補助吊作業とは、アースドリル施工時のスタンドパイプ、鉄筋、トレミー管等の吊り込み作業を言います。
- 2 本機をクレーンとして使用する場合は、法規によりクレーン検査を受けて下さい。
- 3 補助吊作業は、バケットを取り外し、ケリーバ下端を駆動装置下端より3m位下げた状態でフレーム調整シリンダを伸ばし、次にフレーム起伏シリンダを伸ばしてから行って下さい。
- 4 作業半径15mを越える作業は、行わないで下さい。
- 5 本つり上げ荷重は、水平堅土上における値で、転倒荷重の78%以内を示します。

## ●ワイヤーロープ仕様

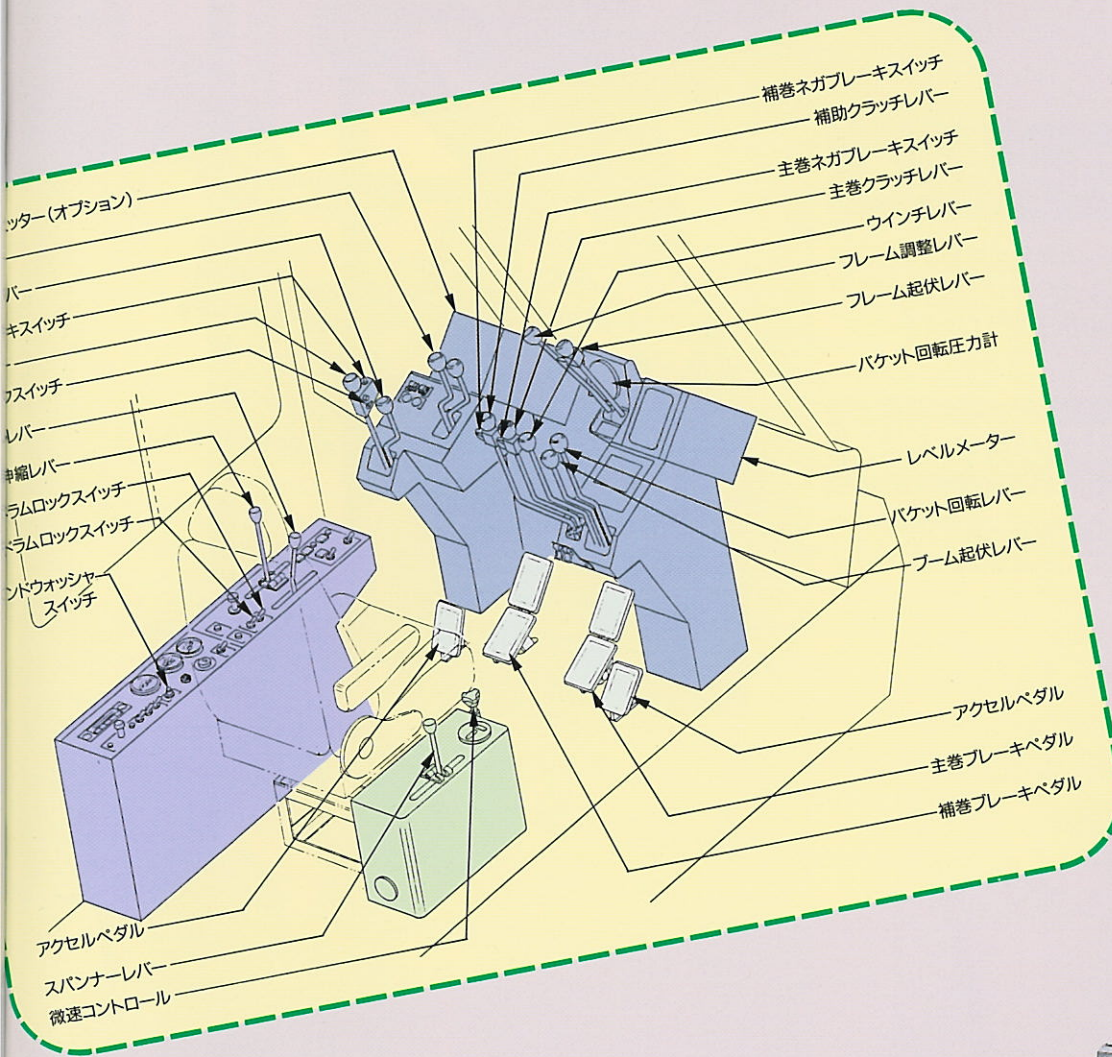
| 仕様     | ロープ構成                       | ロープ径(mm) | ロープ長(m) |
|--------|-----------------------------|----------|---------|
| ケリーロープ | モノロープSP 4×F(40)<br>裸普通ZヨリC種 | 22.4     | 75      |
| 補巻ロープ  | IWRC 6×Fi(29)<br>裸普通ZヨリC種   | 22.4     | 60      |

## ●補助吊能力 (ケリーバ付時)



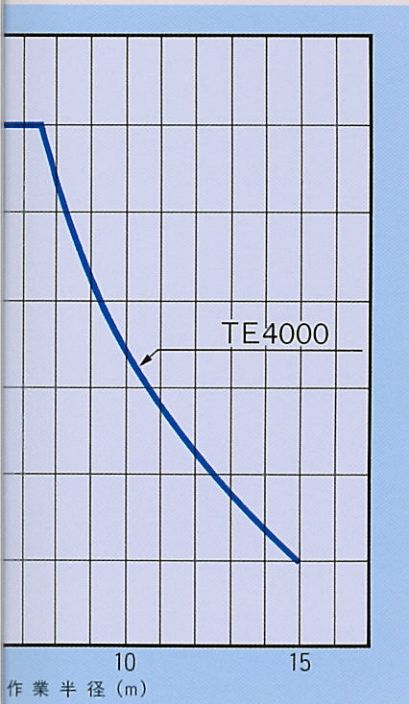
モーメント  
走行レバー  
スラスタ  
旋回レ  
旋回レ  
旋回レ  
アクセ  
ブー  
主巻  
補巻

# と作業能率をアップ。



### ●分解重量および概略寸法

|                                 | 主要装置名       | 重量(t) | 寸法(m)長×幅×高          | 備考                 |
|---------------------------------|-------------|-------|---------------------|--------------------|
| 本<br>体                          | 本 体         | 24.1  | 6.40 × 3.00 × 3.24  | (ブーム起伏シリンダ、ロープ類)含む |
|                                 | カウンタウエイト    | 8.8   | 2.99 × 0.63 × 1.46  |                    |
| ア<br>ー<br>ス<br>フ<br>ロ<br>ン<br>ト | フロントAss'y   | 11.0  | 10.50 × 1.65 × 2.88 | (ケリーバ、フック)除く       |
|                                 | (ブーム)       | (5.1) | 10.50 × 1.50 × 1.15 | (補助シーブ)含む          |
|                                 | (ケリードライブ)   | (2.9) | 1.25 × 1.65 × 2.30  | (ケリーフレーム)含む        |
|                                 | (フロントフレーム)  | (2.5) | 5.24 × 1.50 × 0.45  | (フレーム起伏シリンダ)含む     |
|                                 | (アッパフレーム)   | (0.5) | 3.70 × 1.50 × 0.30  | (フレーム調整シリンダ)含む     |
|                                 | ケリーバ        | 3.0   | 12.76 × 0.38 × 0.38 |                    |
|                                 | 6t(4.9t)フック | 0.06  | 1.10 × 0.25 × 0.25  | (クレーン検査用)          |



# TELE EARTH

## 独自のフロントフレーム機構

好評なアースボーイのフロントフレーム機構を継続して、フロントフレームの吊りロープを無くし、その代わりに油圧シリンダーで保持する構造ですので掘削穴の鉛直精度は向上します。

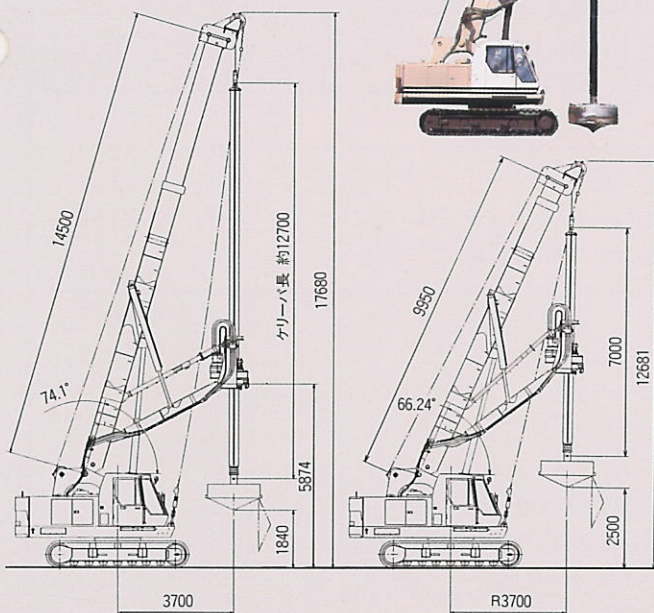
## 簡単な操作で自由自在の作業半径

作業半径が2,769mm~4,066mm (ブーム角度80°~75.6°) の間で任意に調整できますので、狭い場所から広い場所まであらゆるところでの作業が可能となります。



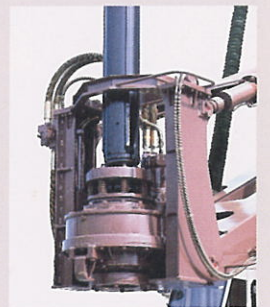
## ■全高をおさえて作業可能

独自のフロントフレーム機構に伸縮ブームをプラスしましたので、標準作業半径時(R=3.7m)、ブーム長さを14.5m (3m短縮) としても使用できます。さらに、全長7mの短尺4段丸型ケリーバ(オプション)を用いれば、ブームを伸ばさずに作業ができ、全高は約13mと低くなります。



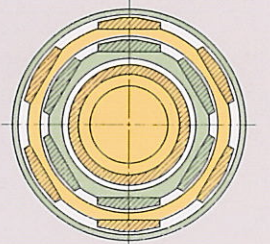
## ■ケリーバ挿入が容易

フロントフレームは上下可動方式のため、ケリードライブが下方位置でケリーバは容易に挿入でき、かつ速やかに作業姿勢に移行できます。



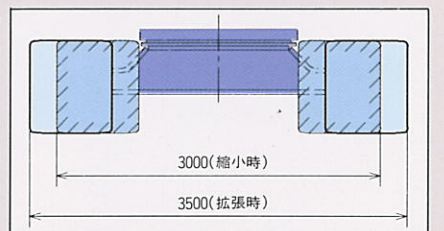
## ■消音ケリーバ(実用新案申請中)

高掘削トルクに対応できる4段丸型ケリーバに独自の緩衝装置の採用で、ケリーバの衝撃音を低下させます。またバケット挿入角ボス寸法は、 $\square 130$ mmと大きく耐久性を向上させました。



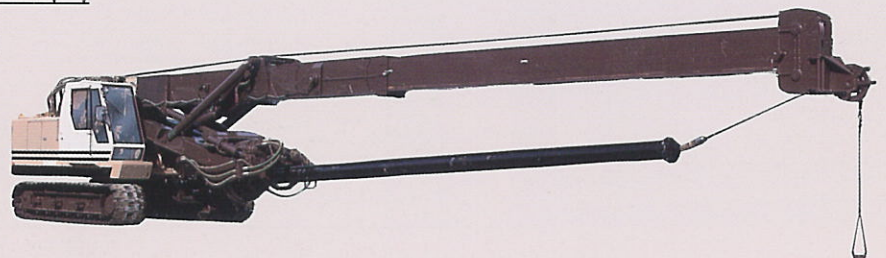
## ■クローラ伸縮機構の採用

作業時にはクローラ巾が3500mmとなり、優れた安定性が確保できます。また、インシュモータの採用で移動時、障害物等によるトラブルも解消できます。

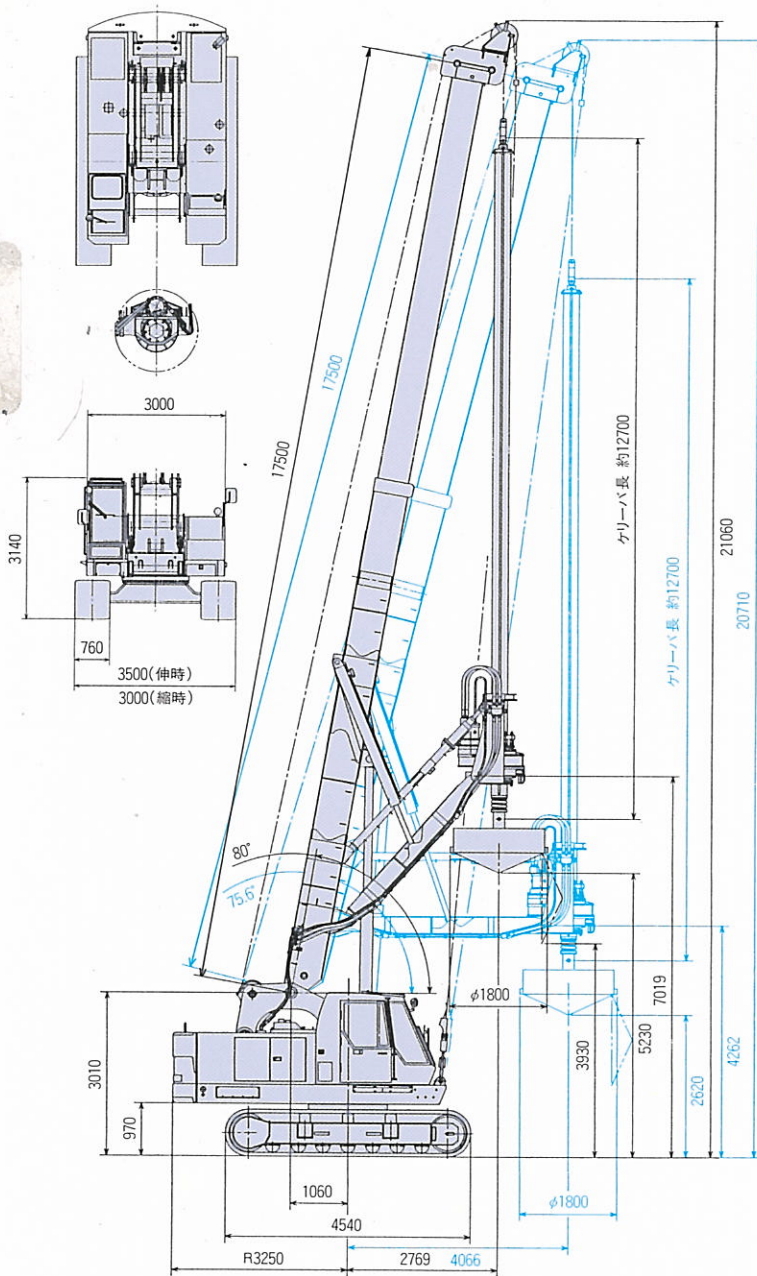


## ■500mmのスラスターストローク

スラスターストロークは、500mmと長く施工効率向上に寄与します。



作業状態図



主要諸元

(※印は負荷により変化します。)

|                     |                             |                  |             |
|---------------------|-----------------------------|------------------|-------------|
| 掘削能力及び装置            | 最大掘削径(mm)                   | 一般土質             | 1,800       |
|                     |                             | 軟弱土質             | 2,000       |
|                     | 最大掘削深度(m)                   | ステムロッド無          | 43          |
|                     |                             | ステムロッド有・ステム10m使用 | 53          |
|                     | バケット回転トルク(ton·f·m)          | 正転/逆転            | 6.0/6.0     |
|                     | バケット回転数(rpm)                | 2速/1速            | ※30/15      |
|                     | ケリーバ押し下げストローク(mm)           |                  | 500         |
|                     | ラインプル(ドラム1層目)(ton)          |                  | 13.5        |
| 最大補助吊能力×作業半径(ton×m) |                             | 6.0×7.7          |             |
| ケリーバ駆動方式            |                             | 直動油圧式            |             |
| ケリーバ長さ(m)           | 丸型、4段、テレスコピック式              | 12.7             |             |
| 作業速度                | バケット補巻、巻上、巻下                | 巻上ロープ速度(高速/低速)   | ※66/33      |
|                     | ロープ速度(m/min)                | 巻下ロープ速度(高速/低速)   | 66/33       |
|                     | 走行速度(km/h)                  |                  | ※2.0        |
|                     | 旋回速度(rpm)                   |                  | 3.5         |
| 本体仕様                | ブームの長さ(mm)                  |                  | 17,500      |
|                     | 旋回半径(mm)                    | 前部(バケットを除く)      | 3,234~4,531 |
|                     |                             | 後部               | 3,250       |
|                     | 作業半径(mm)                    |                  | 2,769~4,066 |
|                     | バケットダンプ高さ(mm)               |                  | 2,620~5,230 |
|                     | 全装備重量(ton)                  | φ1,800mmバケット含    | 48.1        |
|                     | カウンタウエイト(ton)               |                  | 8.8         |
|                     | 登坂能力(本体のみ)(%)               |                  | 40          |
|                     | 平均接地圧(kgf/cm <sup>2</sup> ) |                  | 0.8         |
|                     | 燃料タンク(ℓ)                    |                  | 250         |
| 原動機                 | 日野ディーゼルエンジン                 |                  | H06C-T型     |
|                     | 定格出力(PS/rpm)                |                  | 160/2,100   |
|                     | 最大トルク(kgf·m/rpm)            |                  | 54/1,800    |
|                     | 燃料消費率(g/psh)                |                  | 165         |

●本カタログの仕様は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。  
●本機の取扱いに際しては、取扱説明書の注意事項を必ずお守りください。

総代理店 **日熊工機株式会社** 建設機械部

- 本社 〒460 名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル5階 TEL(052)261-1431 FAX(052)264-1894
- 営業本部 〒460 名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル5階 TEL(052)261-8356 FAX(052)264-1894
- 札幌営業所 〒004 札幌市豊平区里塚2条7丁目1番1号 TEL(011)881-2021 FAX(011)882-2389
- 仙台営業所 〒983 仙台市宮城野区小田原ノ町31 第2青葉高ビル3階 TEL(022)295-3911 FAX(022)293-1042
- 東京営業所 〒104 東京都中央区八丁堀1-11-5 奥山ビル5階 TEL(03)3552-9506 FAX(03)3552-8487
- 名古屋営業所 〒457 名古屋市中南区元塩町1-36 TEL(052)612-3611 FAX(052)612-3615
- 大阪営業所 〒530 大阪市北区芝田2-6-23 全日空ビル5階 TEL(06)372-3251 FAX(06)372-3211
- 広島営業所 〒732 広島市東区光町二丁目7番35号 光町Uビル1階 TEL(082)264-6881 FAX(082)264-6884
- 福岡営業所 〒816 福岡県東大野城市御笠川5-5-16 TEL(092)503-7581 FAX(092)503-7584
- 青森出張所 〒030 青森市古川1丁目21-8 第2須藤ビル2階 TEL(0177)75-2347 FAX(0177)75-1239
- 新潟出張所 〒950 新潟市天神1丁目17番2号 けやきビル2階 TEL(025)246-1231 FAX(025)243-2029
- 金沢出張所 〒920 金沢市広岡2-13-33 K.R.D.ビル6階 TEL(0762)63-0138 FAX(0762)23-5931
- 鹿児島出張所 〒890 鹿児島市宇宿一丁目36番25 コーポサンライズ1階 TEL(0992)51-2697 FAX(0992)55-7945

製造元 **日本車輛製造株式会社** 機電本部

■本部/鳩海製作所 〒458 名古屋市長区鳩海町宇柳長80 TEL(052)623-3311代 ●業務TEL(052)623-3312 FAX(052)623-3307

地区サービスセンター

- 札幌 TEL(011)881-2066
- 青森 TEL(0177)73-5604
- 仙台 TEL(022)295-9211
- 新潟 TEL(025)241-0595
- 東京 TEL(0425)54-1611
- 千葉 TEL(0474)49-4431
- 名古屋 TEL(052)612-2635
- 金沢 TEL(0762)23-0827
- 大阪 TEL(0726)49-3481
- 岡山 TEL(086)295-0825
- 広島 TEL(082)264-6866
- 高知 TEL(0888)84-0350
- 福岡 TEL(092)503-9151
- 鹿児島 TEL(0992)55-7491

■お取り扱い店

基礎工事用機械運転技能講習

所定のコースを修了し、修了試験に合格された方には、修了証を交付します。この修了証があれば、杭打機、アースドリルなどの車両系建設機械基礎工事用の運転ができます。お気軽にお問い合わせ下さい。

愛知労働基準局長指定教習機関  
日本車輛製造(株)技術教習所  
TEL(0569)22-7549